

全国都道府県議会議長会定例総会

令和8年1月21日、第183回全国都道府県議会議長会定例総会が東京都で開催され、本県議会から藏内勇夫議長が出席しました。また、来賓には林芳正総務大臣が招かれました。

総会では、男女共同参画委員会が取りまとめた提言についての報告の後、香原勝司福岡県議会議員が福岡県議会における議員提案政策条例の取組について報告を行いました。

香原議員は、議員提案政策条例検討会議の座長として「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を取りまとめた経験を基に、条例議案提出までの流れ、これまでに制定した議員提案政策条例の概要、そして「福岡県ワンヘルス推進基本条例」の制定に至る背景から本条例に基づく具体的な取組事例までを詳細に報告しました。香原議員は報告の中で、「特に私どもが意識しておりますのは、理念だけの条例にはしないということです。その条例が目的とする政策を実現するための実効性のある、何らかの仕組みを盛り込むことにしています」と力強く述べました。

そのほか、来年度予算案の審議や、原邦彰総務事務次官による、「持続可能な地方行財政のあり方」と題する講演等が行われました。

また、本県会議の議会運営委員会による全国都道府県議会議長会への視察も行われ、会長表敬後に総会を傍聴しました。さらに、同事務局から、「地方議会を巡る最近の動向と全国都道府県議会議長会の取組」について説明を受け、「学校と議会が連携する主権者教育の推進」や「多様な人材の議会参画の促進」など、女性や若者が議会に参画しやすい環境を整えるための取組について意見交換を行いました。



総会の様子



報告を行う香原勝司議員



事務局から説明を受ける議会運営委員会

福岡県議会ハラスメント防止研修会



藏内勇夫議長



矢口耕太郎弁護士



牛腸綾香副センター長

11月21日、本県議会議員を対象とした「福岡県議会ハラスメント防止研修会」を議会棟において開催し、藏内勇夫議長や中尾正幸副議長をはじめ、多くの議員が参加しました。この研修会は、「福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するための条例」に基づき開催しているものです。

研修会の冒頭、藏内議長は挨拶で、「今回の研修テーマである、インターネット上での誹謗中傷等への対応は、私たち議員にとって大変重要な課題です。私自身も根拠のない誹謗中傷を繰り返された被害者であり、このような行為によって、選挙や政治がゆがめられてはならないと強く思っております。本日は両講師の講演を通じて、私たち自身の研鑽を深めたいと考えております」と述べました。

今回は、弁護士の矢口耕太郎（やぐち こうたろう）氏と違法・有害情報相談センター副センター長の牛腸綾香（ごちょう あやか）氏を講師としてお招きし、SNSやインターネット上における「なりすまし」や「誹謗中傷」への対応等についてご講演いただきました。

講演後の質疑応答では、外国企業が運営するSNSでの被害対応の難しさや、虚偽発言に対する司法判断の現状と今後の動向等について質問が寄せられました。

また、本研修の事前アンケート調査を本県議会議員を対象に実施したところ、約半数の議員から、SNSやネット上で、議員活動や選挙活動に関連する「なりすまし」や「誹謗中傷」等、何らかの被害を受けたことがあるとの回答があり、被害の広範さも明らかとなりました。



違法・有害情報相談センター（総務省委託事業）

<https://ihaho.jp/>

相談者自身で行う削除依頼の方法などを迅速にアドバイスします。インターネットに関する技術や制度等の専門知識や経験を有する相談員が、人権侵害に限らず、様々な事案に対して幅広くアドバイスします。



ホームページ



LINE
公式アカウント